

オートセンス：ソースに「BTL」技術がない場合は、「SE」に切り替えます。

「SE」は「シングルエンド」を意味し、「BTL」は「ブリッジタイドロード」を意味します。

「SE」と「BTL」は、すべてのヘッドユニットの電源出力段の電気的構成を指します。

古いヘッドユニットや安価なヘッドユニットは、出力段が低い(4Ωでチャンネルあたり10〜15Wrms以下)のでそのため、適切なオートセンス動作を実現するためには、「SE」モードを使用する必要があります。

最近のヘッドユニットはほとんどが高出力のステージを持っています(通常、4Ωで35〜50Wrms/ch)を搭載しているので、「BTL」モードを推奨します。

SEは、ヘッドユニットの出力信号を常に一定の閾値と比較し、それ以上の値であれば、オートセンス回路が少なくとも1分間アンプを作動させます。

オートセンス回路は、少なくとも1分間はアンプを作動させます。

1分以上、適切な信号が検出されない場合は、アンプがオフになります。

***オートセンスを使用する場合はBTLモードにしてください**

注意！ 「BTL」モードはオートセンス機能の規定値です。

「SE」モードの誤った使用はバッテリー上がりの原因になります。「SE」モードの仕様は、他のモードでは動かないときの最終手段として、自己責任において設定してください。**MOSCONI-GLADEN** は、この誤った仕様に起因するトラブルにつきましては責任を負いません。

もし「SE」モードを使う場合は以下の事項をお守りください。

取付が完了したら、ヘッドユニットの電源が切れた後数分以内に **DSP** の電源が切れることを確認してください。もし **DSP** の電源が切れない場合は、「SE」モードは適しておりません。「BTL」モードに戻してください。「SE」モード時は、**RCA** 入力を接続しないでください。

以下の3点は、音楽再生に使用しない **RCA** 入力と接続してしまう可能性があります。

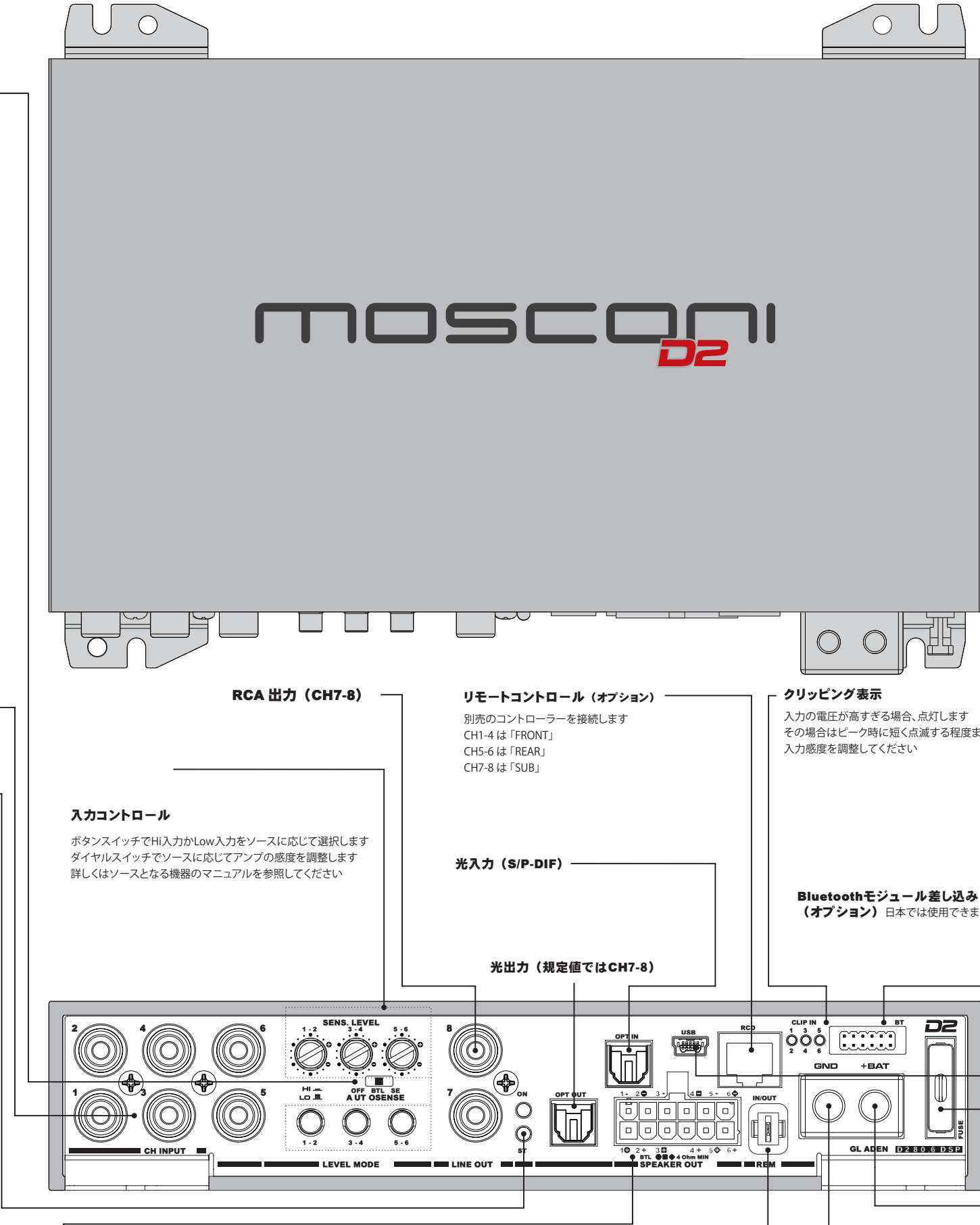
1. ハイレベル入力モード時に、**RCA** ジャックのアース側をアース接続した場合

2. ローレベル入力モード時に、**RCA** ジャックの内側に 50Ωの動作を接続した場合

3. 信号線をソースから **RCA** チャンネルへY字型コネクタで接続し、**RCA** 入力(左右それぞれ)を0%に設定した場合。必ずすべての入力の設定を同じ入力モードにしてください(ハイレベルかローレベルか)

LED表示灯

- 1：起動中
- ゆっくり点滅(3秒間)：DSPが起動中で、EEPROMからデータを読み込んでいます
- 消灯(1秒以内)：MCU(制御装置)がフィルターなどの設定をレジスターに書き込んでいます
- 点滅：1つのレジスターの書き込みに成功しました
- 2：起動終了
- 消灯：正常に起動しました
- 点灯：起動中にエラーが発生しました
- 3：動作中
- 短くバラバラの間隔で点滅：クリッピングせずに出力されています
- 早く等間隔で点滅：ADCにてオーバーフローが発生、入力は保護のためミュートになっています
- 点灯：オートフェイドを検知し、メインミキサーの動作を停止しました。ただし、ずっと点灯したままの場合は別のミキサーが動作中で、バックフェイドタイム中です
- 4：DSPソフトウェア操作中
- DSPソフトウェアからデータを送受信するたびにLEDは点滅します
- 5：シャットダウン
- 終了動作中はゆっくりと点滅します
- 6：特殊
- MCUが何らかのエラーで停止した場合、LEDは点灯したままになります
- DSPソフトウェアよりファームウェアの送信が完了したとき、約1秒間点灯し(この時DSPはリセット動作中)
- 約2秒間早く点滅(この時アップデート動作中)その後、起動動作に入ります



スピーカー接続線

リモートコントロール

適切に終端処理されたケーブルを使って、アンプのFASTON端子にソース機器のアンプリモート線を接続します。もしオートセンス機能を使う場合は、外部アンプのON/OFFをするためにリモート出力線として使うこともできます*1

*1 リモート入出力ピンの最大電流は100mAです。この制限を超えたとき、リモート回路が故障します

12V

警告

12ボルト車にのみ使用のこと。

作業前にターミナルを外してから作業を行って下さい。

現在の負荷、ケーブルの長さに合ったパワーケーブルとゲージを使用してください。

当マニュアルの表は安全使用できる最小ゲージを示しています。

可能な限り利用可能な最大のゲージを使用してください。

MIN. SECTION (AWG/mm²)									
CURRENT (A)	0-20	14/2	12/4	12/4	10/6	10/6	8/9	8/9	8/9
	20-35	12/4	10/6	8/9	8/9	6/14	6/14	6/14	4/21
	35-50	10/6	8/9	8/9	6/14	6/14	4/21	4/21	4/21
	50-65	8/9	8/9	6/14	4/21	4/21	2/34	2/34	2/34
	65-85	6/14	6/14	4/21	4/21	2/34	2/34	2/34	0/54
	85-105	6/14	6/14	4/21	2/34	2/34	2/34	2/34	0/54
	105-125	4/21	4/21	4/21	2/34	2/34	0/54	0/54	0/54
125-150	2/34	2/34	2/34	2/34	0/54	0/54	0/54		
LENGTH (m.)									
	0-1.2	1.2-2.1	2.1-3.1	3.1-4.0	4.0-4.9	4.9-5.8	5.8-6.7	6.7-8.5	

ソフトウェアダウンロード

最新版のソフトウェアを入手するには、以下のサイトからダウンロードしてください。

www.gladen-audio.com/DSP/download/www.gladen

ダウンロードができない場合は、販売店にお問い合わせください。

システム要件：Windows XP、Vista、7、8、10（32ビットおよび64ビット）。

setup.exeをダブルクリックすると、プログラムが自動的にインストールされデスクトップに**MOSCONI DSP**のアイコンが表示されます。

次のステップの順番に注意してください。

D2 DSPを、付属のUSBケーブルを使って接続してください。接続後60秒以内に**D2 DSP**との接続を認識します。

これにより、PCで設定した**DSP**データを**DSP**にアップデータとし、また、**DSP**に保存されている設定情報をPCにダウンロードすることができます。

ソフトウェアに動画による説明が付属しています。再生には**QuickTime**が必要です。

終了するには、ソフトウェアを終了し**DSP**と**PC**の接続を解除してください。設定は自動で保存されます。

重要：クロスオーバーフィルターにて設定できる **Q** 値の範囲は広範囲に及ぶため、クリッピングが発生しやすくスピーカに負担がかかります。設定中は常にLEDを見て、クリッピングがないか確認してください。設定には使用域が必要で、さもなければスピーカーの破損の恐れがあります。

安全のため、間違った設定やソフトウェアの不具合によるツイーターの破損を防ぐために、10Fのコンデンサーをツイーターの入口に入れておくことをお勧めします。

ヒューズ

ヒューズを取り替えるときは必ずソース機器の電源をOFFにしバッテリーを外してください

茶色のヒューズを取り外し、同じモデルの同じ容量のものをご使用ください

プラス電源接続

ケーブルをバッテリーのプラス電源にしっかり接続してください

適正端子が付いている、できるだけ短いケーブルをご使用ください

付属のヒューズとは別に、バッテリーにできるだけ近い位置に外部ヒューズを取り付けてください

ボディアース

車体のフレームまたはシャシーの金属部分にケーブルをしっかり接続してください

塗料をはがし、適正な端子を使用し、最短の長さのケーブルをご使用ください